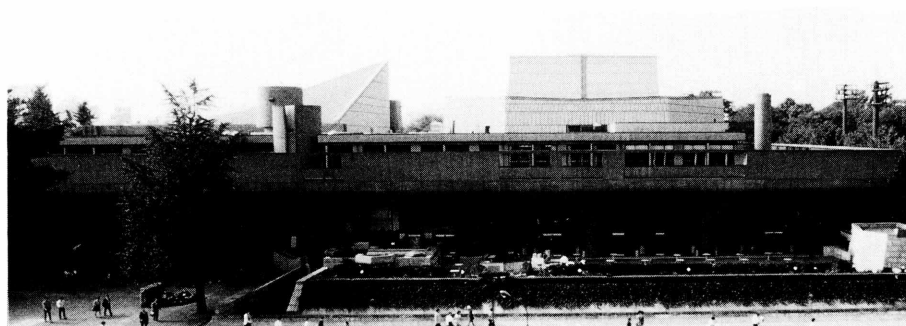


東京文化会館



所在地 東京都台東区
建物用途 文化ホール
竣工 1961年
所有者 東京都知事
設計者 株式会社前川建築設計事務所
施工者 清水建設株式会社
維持管理者 東京文化会館施設課

〈審査評〉 東京文化会館は、東京都の文化施設として、前川建築設計事務所の設計、清水建設の施工によって1961年、上野公園に建てられた音楽専用ホールである。定員2303名の大ホール、定員649名の小ホール、音楽関係の図書やCD・LDを収容する音楽資料室などを含む総合施設で、以来クラシック音楽を中心とする幅広い文化事業によって、日本を代表する音楽の殿堂としての役割を果たしてきた。

竣工当初から、その個性的なホールの形態を砕石大理石打ち込みの特殊PC版で覆ったその重厚な外壁、それらをまとめて取り囲む巨大なコンクリートの大庇といった外観が注目を集めるとともに、建物の使われ方と施工や建物の維持管理のし易さを意識したその設計思想や施工の技術水準においても、その時代を代表する建築として有名である。

それ以降、本格的な舞台装置の設置や新リハーサル棟増築など内容を充実させながら、一方では内部設備や音響の改善、ホール大屋根の防水や大庇の補修など、幾度の大規模な改修工事を行ってきた。それにより上野公園をとりまく様々な環境の悪化や、事業内容の変化に耐えながら、現在でも竣工当時の堂々とした風格を維持し、都民が利用しやすい施設としての活動を続けているのは、さすがといわざるを得ない。

こうした実績を支えているのが、管理者である東京都に設計者側から常に施設維持管理に関する現状調査報告ならびに長期改修計画資料が提出され、それに応じて当初からの施工者が工事を担当する、といった万全な維持管理体制である。これら三者の同盟によって綿密な年次計画の作成と改修方法の検討が行われ、使用頻度の高い建物にもかかわらず、その公演機能を停止することなく建物の更新、再生が進められてきた。コンクリート打ち放し仕上げの改修や音響関係の改善技術についての成果も公開されている。それらの人的努力を含めて、東京文化会館は公共建築のあるべき姿を名実ともに示しており、LLB部門の賞にふさわしい建物である。